

## 小堀 孝二 議員



### 簡易水道の一元化について

**Q** 久木野地区の簡易水道一元化の進捗状況はどうか、進展しない原因は何か。そして、今後の取り組み、見通しについてたずねたい。

**A** **環境対策課長**

久木野地区では村が国の認可を受け整備して、各水道組合で維持管理運営がされている現状なので調整に時間が掛かっている。4月に全水道組合の合同説明会を行い、又各水道組合に向向いて、一元化へ向けて合意をいただくよう説明等お願いしているところである。

平成21年度までに統合計画書を作成すれば28年度までは一元化の優遇処置がある。

現在簡易水道8組合〔同意1組合、同意の方向3組合、検討4組合〕又 飲料水供給施設8組合〔同意3組合、検討3組合、自主運営2組合〕の現況である。

## 古澤 順正 議員



### 子どもの医療費について

**Q** 次世代を担う子どもたちの健やかな成長と、子育てをする保護者の経済的な負担を軽減するための医療費助成が、中学生まで対象で、恵まれていると思う。これに加え、窓口無料化の導入について尋ねる。

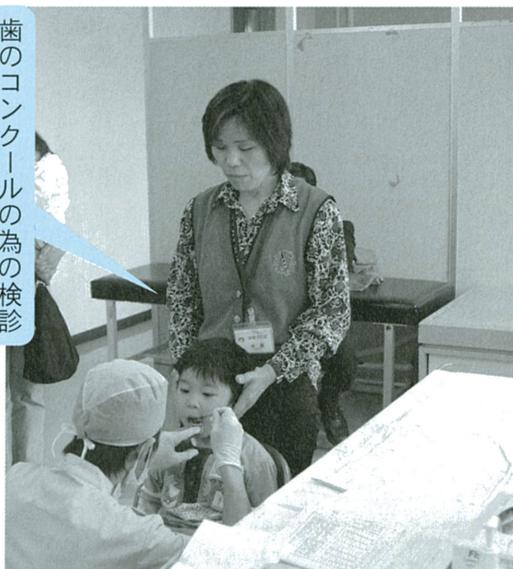
**A** **住民福祉課長**

県下でも中学生まで医療費を助成しているところは少ないと思うし、現在は隣接町村と同じように償還方式を行っている。窓口の無料化については、この現物支給方式を取り入れた地域で、市町村の負担が大幅に増加し、再度、償還払い方式に戻したい希望があると聞いている。財政厳しい中、これ以上の住民負担増は考えられない状況にある。

**Q** 窓口無料化の可能性と今後の取り組みについて村長の考えを伺いたい

**A** **村長**

県下の状況を見ると、乳幼児の医療費以外はすべて償還方式になっている。村の診療機関との直接契約での可能性はあるが、管内の病院の利用度や、国の補助金減額、付加給付制度等のマイナスイ面などから、この実情を保護者に伝え村の状況を見極めながら考えていきたいと思うが、今のところ、償還払い方式でやらざるを得ないという気がしている。



歯のコンクルールの為の検診